

<福島県教育長賞>

## 税金について

福島県立会津学鳳中学校 三年 田崎 妃乃

「おばあちゃん、こんにちは。元気？見える？聞こえる？」

「こっちは、みんな元気だよー。」

お盆に、母の実家に帰省したときに、曾祖母とオンライン面会をした。オンライン面会に写った曾祖母の顔は笑顔で元気そうだった。そして、とても元気になっていることを話してくれた。

私の曾祖母は、介護老人保健施設に入所している。老人介護保険施設とは、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家族への復帰を目指す為に、医師による医学的管理下のもと、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する施設である。コロナウイルスが蔓延する前は、面会に行き、色々な話ができしたが、ここ数年は、コロナウイルス感染拡大の影響により、面会ができない状況にある。寂しがり屋の曾祖母だったが、施設の介護士さんが、たくさん話しかけてくれたり、リハビリに優しくつきあってくれたりしてくれるお陰で、毎日楽しく生活できていると言っている。リハビリが必要な状況であっても、曾祖母が毎日笑顔で過ごせていることには、とても安心している。

ただ、入所していると、お金もかかるだろうと思い、母と祖母に大変だろうと聞いてみた。すると、曾祖母は、国に介護保険をしっかりと払ってきたから、その恩恵を受けて生活することができていると聞いた。介護保険という言葉聞いたのが初めてだったので、介護保険について調べてみた。すると、「介護保険とは、介護が必要な方に、その費用を給付してくれる保険です。四十才になると、介護保険に加入が義務づけられ、保険料を支払うこととなります。」ということが書いてあった。曾祖母は、若い頃、介護が必要な人の為に保険を払ってきた為に、今その恩恵を受けていること

が分かった。でも、介護が必要にならなかつたら、払ってきたお金が無駄になるような気がしたので、祖母に聞いてみると、

「そういうのはお互い様で、自分には直接関係ないかもしれないと思っても、将来のために皆で助け合っていくものなんだよ。」

と、教えてもらった。

今回の「介護保険」のように、私がまだ知らない税の使われ方がたくさんあると思う。今回、曾祖母の事を通して、一つ新しく知ることができたように、今後も少しずつ、税のことについて知っていきたい。

そして、今回祖母に教えてもらったように、自分に直接関わりはないと思うことも、「お互い様」「助け合い」の気持ちを持つことで、将来みんな笑顔で生活できるように、税についての知識を増やして成長していきたい。